

令和5年度 職員の給与の男女の差異の情報公表

特定事業主名： 都城市

1. 全職員に係る情報

| 職員区分 | 男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合) |
|-------------------|---------------------------------|
| 任期の定めのない常勤職員 | 88.0 % |
| 任期の定めのない常勤職員以外の職員 | 91.0 % |
| 全職員 | 67.2 % |

2. 「任期の定めのない常勤職員」に係る役職段階別及び勤続年数別の情報

* 地方公共団体における「任期の定めのない常勤職員」の給料については、各地方公共団体の条例で定める給料表に基づき決定されており、同一の級・号給であれば、同一の額となっている。

(1) 役職段階別

| 役職段階 | 男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合) |
|-------------|---------------------------------|
| 本庁部局長・次長相当職 | 98.4 % |
| 本庁課長相当職 | 99.1 % |
| 本庁課長補佐相当職 | 97.5 % |
| 本庁係長相当職 | 96.8 % |

(2) 勤続年数別

| 勤続年数 | 男女の給与の差異 (男性の給与に対する女性の給与の割合) |
|--------|---------------------------------|
| 36年以上 | 88.7 % |
| 31～35年 | 96.0 % |
| 26～30年 | 94.2 % |
| 21～25年 | 94.1 % |
| 16～20年 | 94.9 % |
| 11～15年 | 91.4 % |
| 6～10年 | 92.5 % |
| 1～5年 | 89.3 % |

【説明欄】

- ・ 扶養手当及び住居手当は、男性に支給している場合が多く、各手当支給者に占める男性の割合は扶養手当が91.76%、住居手当が69.29%である。
- ・ 全職員に係る情報のうち、全職員における差異については、会計年度任用職員に占める女性の割合が78.67%と高く、相対的に給与水準が低い職員が女性に偏っているためである。

* 勤続年数は、採用年度を勤続年数1年目とし、情報公表の対象となる年度までの年度単位で算出している。